

# 環境経営レポート

**2019年度**

(対象期間：2019年4月～2020年3月)

 茨城スバル自動車株式会社

発行日：2020年5月31日

# 目次

【1】組織の概要	1
【2】対象範囲	2
【3】環境経営方針	3
【4】環境経営目標	4
【5】環境経営計画	5
【6】環境経営計画に基づき実施した取組内容	6
【7】環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組 結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標 及び環境経営計画	7 ~ 8
【8】環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	9
【9】代表者による全体の評価と見直し・指示	10

# 【1】組織の概要

## 代表者コメント

お客様や取引先、地域の方々、社員とその家族といった当社に関わる全ての人々が、より良い環境で生活していくための活動の一つがエコアクション21になります。全社員がこの活動の目的や意味を理解し具体的な取組を実践していくことは、当社の企業理念でもある「人々の幸福な生活に寄与する…」ことに繋がります。今後、さらに有効な活動となるように当たり前のことが当たり前に行える組織を目指して実行してまいります。

### (1) 事業所名

茨城スバル自動車株式会社

### (2) 代表者氏名

代表取締役社長 大槻 直樹

### (3) 所在地

茨城県水戸市千波町 1 9 8 4 - 1

### (4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	常務取締役サービス部長	木村 弘
事務局	保険部長	吉原 敦
事務局	総務部長	保科 孝夫

連絡先 電話 029 - 241 - 1341 (代表) F A X 029 - 243 - 1783

### (5) 事業の内容

新車及び中古自動車の売買・整備・修理、自動車部品・用品の販売、損害保険の代理店業務

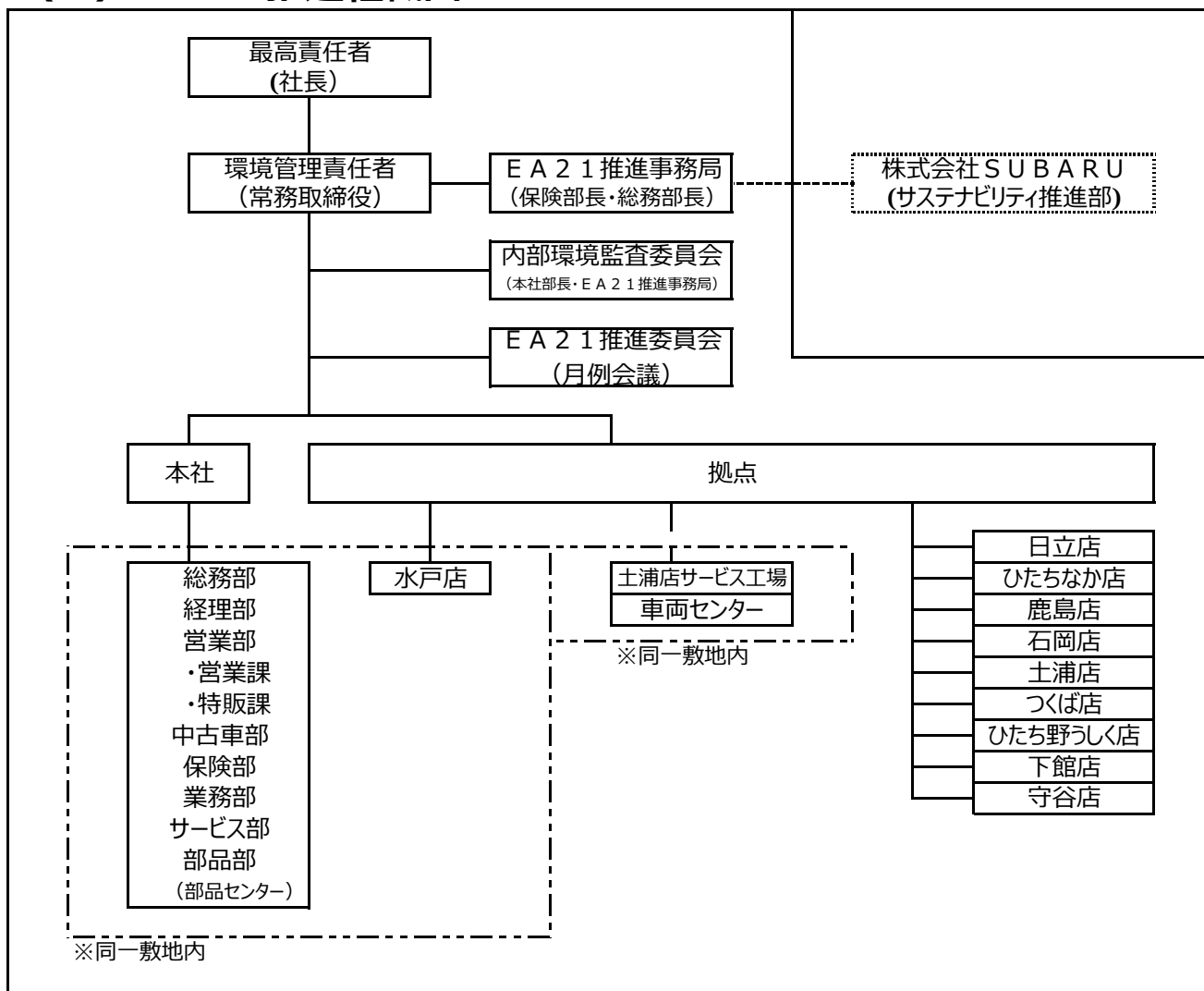
※以上の全活動を認証登録の対象範囲とする。

### (6) 事業の規模 (2019年度)

・売上高	9,380 百万円
・新車販売台数	2,282 台
・中古車販売台数	1,681 台
・従業員数 (派遣・パート等含む)	253 人
・敷地面積	53,430 m <sup>2</sup>

## 【2】対象範囲

### (1) E A 21推進組織図



### (2) 事業所一覧・組織区分

事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	F A X 番号	敷地面積 (㎡)	工場 資格	社員数	組織 区分
1 本社 (水戸店除く)	310-0851	水戸市千波町 1 9 8 4 - 1	総務部長	029-241-1341	029-243-1783	10,728.0	—	42	A
2 日立店	319-1411	日立市川尻町 1 - 3 7 - 1 4	店長	0294-42-3611	0294-42-8707	1,912.0	指定	16	C
3 ひたちなか店	312-0005	ひたちなか市新光町 2 7 - 3	店長	029-212-9600	029-212-9603	5,000.0	指定	21	C
4 水戸店	310-0851	水戸市千波町 1 9 8 4 - 1	店長	029-241-1505	029-243-7713	0.0	指定	37	C
5 鹿島店	314-0135	神栖市堀割 1 - 1 - 2 8	店長	0299-90-1871	0299-93-9010	3,200.0	指定	15	C
6 石岡店	315-0071	かすみがうら市市川 8 6 - 2	店長	0299-22-6107	0299-23-6707	1,314.6	認証	14	C
7 土浦店	300-0046	土浦市千東町 4 - 5	店長	029-821-5247	029-822-6718	941.1	—	7	B
8 土浦店サービス工場 車両センター	300-0006	土浦市東中貫町 2 - 1	工場長	029-831-2381	029-832-2713	11,401.2	指定	10	D
			センター長	080-3541-5658	029-832-7699		—	9	D
9 つくば店	300-2622	つくば市要元南口堀字西原 3 - 1	店長	029-877-0200	029-877-0266	1,303.0	指定	27	C
10 ひたち野うしく店	300-1207	牛久市ひたち野東 3 - 3 - 2	店長	029-828-5700	029-828-6055	7,140.8	指定	18	C
11 下館店	308-0063	筑西市神分 4 5 - 1	店長	0296-22-5261	0296-22-4426	1,832.3	指定	17	C
12 守谷店	300-2435	つくばみらい市筒戸 3 3 4 6 - 1	店長	0297-52-0171	0297-52-0154	2,967.0	指定	20	C
						47,740		253	

※以上の全組織を認証登録の対象範囲とする。

○工場の資格で「指定」は指定整備工場、「認証」は認証工場を示す。

○組織区分の意味 A = オフィス業務

C = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 整備業務

B = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車)

D = オフィス業務 + 整備業務

## 【3】環境経営方針

# 環境経営方針

### 《基本理念》

茨城スバル自動車株式会社は、事業活動および環境保全活動において人々の幸福な生活に寄与するために活動するという企業理念に基づいて、シンプルで清々しい集団を目指して研鑽を積んでいきます。

### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に及ぼす影響を考慮し、以下の環境保全活動に積極的に取り組みます。

1. 事業活動のあらゆる領域で、省資源、省エネルギー（CO2削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行ないます。
2. 環境汚染の未然防止と共に、環境経営システムとその運用による成果の継続的改善に努めます。
3. 適用される環境関連法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 当社の事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境経営目標を定め継続的な環境改善に取り組みます。
  - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
  - ②省資源（水使用量、紙使用量）
  - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減）
  - ④化学物質の把握、管理（PRTR法関連、VOC対策）
  - ⑤環境対応型自動車（低燃費車・低公害車等）の普及
  - ⑥拠点周辺の美化を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する。
5. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

制定 平成22年 6月25日

改定 平成31年 4月 1日

茨城スバル自動車株式会社

代表取締役 大槻 直樹

## 【4】環境経営目標

目標項目（基準値2018年度実績）	2019年度	2020年度	2021年度
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> 491,635 Kg-CO2 <売上高当りCO2排出量> 2018年度売上高…9,380百万円 491,635 Kg-CO2/ 9,380 百万円 = 52.4 Kg-CO2/百万円	△1% 486,551 Kg-CO2/ 9,380百万円 51.9 Kg-CO2/百万円	△2% 480,784 Kg-CO2/ 9,380百万円 51.3 Kg-CO2/百万円	△3% 476,311 Kg-CO2/ 9,380百万円 50.8 Kg-CO2/百万円
消費電力量削減 基準値 894,262 kwh CO2排出量 43,083 Kg-CO2	0% 894,262 kwh 43,083 Kg-CO2	△3% 867,434 kwh 41,791 Kg-CO2	△3% 867,434 kwh 41,791 Kg-CO2
ガソリン消費量削減 基準値 170,020 ℓ CO2排出量 394,728 Kg-CO2	△1% 168,320 ℓ 390,781 Kg-CO2	△2% 166,620 ℓ 386,833 Kg-CO2	△3% 164,919 ℓ 382,886 Kg-CO2
軽油消費量削減 基準値 15,279 ℓ CO2排出量 40,098 Kg-CO2	△1% 15,126 ℓ 39,100 Kg-CO2	△2% 14,973 ℓ 38,705 Kg-CO2	△3% 14,821 ℓ 38,312 Kg-CO2
灯油消費量削減 基準値 5,140 ℓ CO2排出量 12,807 Kg-CO2	△1% 5,089 ℓ 12,669 Kg-CO2	△2% 5,037 ℓ 12,540 Kg-CO2	△3% 4,986 ℓ 12,413 Kg-CO2
液化石油ガス（LPG）消費量削減 基準値 306 kg CO2排出量 919 Kg-CO2	0% 306 kg 918 Kg-CO2	△0.5% 305 kg 915 Kg-CO2	△1% 303 kg 909 Kg-CO2
<b>廃棄物排出量の削減</b> 一般廃棄物低減 基準値 25.6 t (25,601) kg <売上高当り一般廃棄物削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 25,601 Kg / 9,380 百万円 = 2.73 Kg/百万円	△1% 25.3 t (25,345) kg △1% 25,345 Kg / 9,380 百万円 2.7 Kg/百万円	△2% 25.1 t (25,089) kg △2% 25,089 Kg / 9,380 百万円 2.67 Kg/百万円	△3% 24.8 t (24,833) kg △3% 24,833 Kg / 9,380 百万円 2.65 Kg/百万円
産業廃棄物の削減 基準値 77.2 t <売上高当り産業廃棄物削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 77,295 Kg / 9,380 百万円 = 8.24 Kg/百万円	0% 77.2 t 77,295 Kg / 9,380 百万円 8.24 Kg/百万円	△0.5% 76.9 t 76,908 Kg / 9,380 百万円 8.20 Kg/百万円	△1% 76.5 t 76,522 Kg / 9,380 百万円 8.16 Kg/百万円
紙（コピー用紙）の使用削減 基準値 8.50 t <売上高当り紙使用削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 8,502 Kg / 9,380 百万円 = 0.91 Kg/百万円	0% 8.50 t 8,502 Kg / 9,380 百万円 0.91 Kg/百万円	△0.5% 8.46 t 8,459 Kg / 9,380 百万円 0.90 Kg/百万円	△1% 8.42 t 8,417 Kg / 9,380 百万円 0.90 Kg/百万円
<b>総排水量の削減</b> 水使用量削減 基準値 8,261 m <sup>3</sup> <売上高当り水使用削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 8,261 m <sup>3</sup> / 9,380 百万円 = 0.88 m <sup>3</sup> /百万円	△0.5% 8,219 m <sup>3</sup> △0.5% 8,219 m <sup>3</sup> / 9,380百万円 0.88 m <sup>3</sup> /百万円	△1% 8,178 m <sup>3</sup> △1% 8,178 m <sup>3</sup> / 9,380百万円 0.87 m <sup>3</sup> /百万円	△1.5% 8,137 m <sup>3</sup> △1.5% 8,137 m <sup>3</sup> / 9,380百万円 0.87 m <sup>3</sup> /百万円
<b>PRTR対象化学物質 使用量の把握・管理</b>	PRTR法対象物質はないが把握・管理を継続実施		
<b>環境対応型自動車の普及</b> 新車販売における環境対応車の販売比 基準値 28.0 %	+2% 30.0 %	+3% 31.0 %	+5% 33.0 %
<b>車検付点検パック付保率の向上</b> 新車販売における点検パックの付保率 基準値 72.4 %	+1% 73.4 %	+2% 74.4 %	+3% 75.4 %
<b>社会貢献活動</b>	店舗周辺の美化等		

## 【5】環境経営計画

活動	手段	活動によるメリット
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> 消費電力量削減 ガソリン消費量削減 軽油消費量削減 灯油消費量削減 液化石油ガス（LPG）消費量削減	○業務効率の改善 ○労働環境の改善 ○省エネルギー活動 ・効率的な営業活動の推進 ・低燃費車への代替 ・使用状況の見直し （水戸、車両C）	○生産性の向上 ○コストの削減 ○プライベート時間の創出 ○離職率の低下
<b>廃棄物排出量の削減</b> 産業廃棄物の削減 紙（コピー用紙）の使用削減	○3R活動の推進 ・再整備の抑制 ・PC、タブレット使用による ペーパーレス化の推進 （車両販売、保険業務における システム運用）	○生産性の向上 ○コストの削減 ○社会貢献 （県内小学校への本の寄附） ○法令順守
<b>総排水量の削減</b> 水使用量の削減	○節水活動 ○工程の改善（洗車の削減）	○生産性の向上 ○コストの削減
<b>PRTR対象化学物質            使用量の把握・管理</b>	<b>PRTR法対象物質はないが把握・管理を継続実施</b>	
<b>環境対応型自動車の普及</b> 新車販売における環境対応車の販売比 SUBARU車は安全性能の高さが環境に貢献	○販売ノウハウの共有 及び勉強会の実施 ○情報提供による販売促進	○顧客満足度の向上 ○安全、安心の提供 （アイサイト、SGPなど） ○差別化によるシェア拡大
<b>車検付点検パック付保率の向上</b> 新車販売における点検パックの付保率	○販売ノウハウの共有 及び勉強会の実施	○顧客満足度の向上 ○安全、安心の提供 ○修理、メンテナンスの充実

## 【6】環境経営計画に基づき実施した取組内容

### (1) 二酸化炭素排出抑制

#### ①電気使用量削減

- ・全社でのクールビズ実施（環境省推奨期間の5月1日～10月31日）
- ・屋外広告塔の全店舗20：00消灯
- ・P Cのスタンバイ設定の実行

#### ②ガソリン使用量の削減

- ・「エコドライブ10」のすすめ
- ・効率的な業務計画による効率的な車両の使用

#### ③軽油使用量の削減

- ・「エコドライブ10」のすすめ
- ・効率的な車両の使用

— 「エコドライブ10」の内容《参考》 —

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1. ふんわりアクセル「eスタート」         | 6. 渋滞を避け余裕をもって出発     |
| 2. 車間距離にゆとりをもって加速・減速の少ない運転 | 7. タイヤの空気圧から始める点検・整備 |
| 3. 減速時は早めにアクセルを離す          | 8. 不要な荷物はおろそう        |
| 4. エアコンの使用は適切に             | 9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう   |
| 5. ムダなアイドリングはやめよう          | 10. 自分の燃費を把握しよう      |

### (2) 廃棄物排出抑制

#### ①紙（コピー用紙）の使用削減

- ・電子文書の使用拡大による印刷数削減
- ・裏紙使用および両面印刷の推進

#### ②産業廃棄物の削減

- ・マニフェストの完全運用
- ・分別再資源化の推進

### (3) 総排水量抑制

#### ①上下水道の使用量削減

- ・洗車時の効率的な水使用
- ・サービス工場床の拭取り習慣化

### (4) 環境対応型自動車の普及

- ・勉強会を実施し商品知識の向上、販売ノウハウの共有

### (5) 車検付点検パック付保率向上

- ・車検付点検パックの付保による車検、点検整備車両増加

### (6) 社会貢献活動

- ・各店舗周辺の道路清掃活動



# 【7】環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

目標項目（基準値2018年度実績）	2019年度目標	2019年度実績	評価
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> 491,635 Kg-CO2 <売上高当りCO2排出量> 2018年度売上高…9,380百万円 491,635 Kg-CO2 / 9,380 百万円 = <b>52.4 Kg-CO2/百万円</b>	△1% 486,551 Kg-CO2 / 9,380 百万円 <b>51.9 Kg-CO2/百万円</b>	415,891 Kg-CO2 / 9,380 百万円 <b>44.3 Kg-CO2/百万円</b>	達成 対目標14.5%削減 -7.5 Kg-CO2/百万円
<b>消費電力量削減</b> 基準値 894,262 kwh CO2排出量 43,083 Kg-CO2	0% 894,262 kwh 43,083 Kg-CO2	872,185 kwh 7,268 Kg-CO2	達成 対目標2.5%削減
<b>ガソリン消費量削減</b> 基準値 170,020 ℓ CO2排出量 394,728 Kg-CO2	△1% 168,320 ℓ 390,781 Kg-CO2	152,742 ℓ 354,616 Kg-CO2	達成 対目標9.3%削減
<b>軽油消費量削減</b> 基準値 15,279 ℓ CO2排出量 40,098 Kg-CO2	△1% 15,126 ℓ 39,100 Kg-CO2	14,952 ℓ 38,652 Kg-CO2	達成 対目標1.2%削減
<b>灯油消費量削減</b> 基準値 5,140 ℓ CO2排出量 12,807 Kg-CO2	△1% 5,089 ℓ 12,669 Kg-CO2	5,879 ℓ 14,636 Kg-CO2	未達成 対目標15%オーバー
<b>液化石油ガス（LPG）消費量削減</b> 基準値 306 kg CO2排出量 919 Kg-CO2	0% 306 kg 918 Kg-CO2	240 kg 719 Kg-CO2	達成 対目標21.5%削減
<b>廃棄物排出量の削減</b> 一般廃棄物低減 基準値 25.6 t (25,601) kg <売上高当り一般廃棄物削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 25,601 Kg / 9,380 百万円 = <b>2.73 Kg/百万円</b>	△1% 25.3 t (25,345) kg △1% 25,345 Kg / 9,380 百万円 <b>2.70 Kg/百万円</b>	45.0 t (45,027) kg △2% 45,027 Kg / 9,380 百万円 <b>4.80 Kg/百万円</b>	未達成 対目標77.9% オーバー <b>2.10 Kg/百万円</b>
<b>産業廃棄物の削減</b> 基準値 77.2 t <売上高当り産業廃棄物削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 77,295 Kg / 9,380 百万円 = <b>8.24 Kg/百万円</b>	0% 77.2 t 77,295 Kg / 9,380 百万円 <b>8.24 Kg/百万円</b>	88.7 t △0.5% 88,685 Kg / 9,380 百万円 <b>9.45 Kg/百万円</b>	未達成 対目標14.9% オーバー <b>1.21 Kg/百万円</b>
<b>紙（コピー用紙）の使用削減</b> 基準値 8.50 t <売上高当り紙使用削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 8,502 Kg / 9,380 百万円 = <b>0.91 Kg/百万円</b>	0% 8.50 t 8,502 Kg / 9,380 百万円 <b>0.91 Kg/百万円</b>	8.46 t △0.5% 8,460 Kg / 9,380 百万円 <b>0.90 Kg/百万円</b>	達成 対目標0.5%削減 <b>0.01 Kg/百万円</b>
<b>総排水量の削減</b> 水使用量削減 基準値 8,261 m <sup>3</sup> <売上高当り水使用削減量> 2018年度売上高…9,380百万円 8,261 m <sup>3</sup> / 9,380 百万円 = <b>0.88 m<sup>3</sup>/百万円</b>	△0.5% 8,219 m <sup>3</sup> △0.5% 8,219 m <sup>3</sup> / 9,380 百万円 <b>0.88 m<sup>3</sup>/百万円</b>	8,281 m <sup>3</sup> 8,281 m <sup>3</sup> / 9,380 百万円 <b>0.88 m<sup>3</sup>/百万円</b>	未達成 対目標0.8%オーバー <b>0.01 m<sup>3</sup>/百万円</b>
<b>PRTR対象化学物質 使用量の把握・管理</b>	PRTR法対象物質はないが把握・管理を継続実施		
<b>環境対応型自動車の普及</b> 新車販売における環境対応車の販売比 基準値 28.0 %	+ 2% 30.0 %	567 台 (HV) / 1,913 台 (登録車) 29.6 %	未達成 対目標-1.3%
<b>車検付点検バック付保率の向上</b> 新車販売における点検バックの付保率 基準値 72.4 %	+ 1% 73.4 %	78.5 %	達成 対目標+6.9%
<b>社会貢献活動</b>	店舗周辺の美化等		

## **(1) 二酸化炭素排出抑制**

### **①電気使用量削減**

整備在庫量の増や夏場の猛暑が電気使用量増加の要因となるなか、対目標**97.5%**と目標を達成することができました。次年度も在庫量の増や猛暑が予想されるため、全事業所において残業時間圧縮に向けた取組を模索して実行していきます。

### **②ガソリン使用量の削減**

エコドライブの浸透や効率的な使用等により、対目標**90.7%**と目標を達成することができました。引き続き効率的な使用や「エコドライブ10のすすめ」の定着を推進します。

### **③軽油使用量の削減**

納車、引き取りが増える中、エコドライブの浸透や効率的な使用等により、対目標**98.9%**と達成することができました。更なる効率化を図り「エコドライブ10のすすめ」の定着を継続して推進します。

## **(2) 廃棄物排出抑制**

### **①紙（コピー用紙）の使用削減**

整備在庫車両の増大や新車納車時期の長期化等がありながらも目標を達成することができました。今後も社内資料を中心に更なるペーパーレス化を推進していきます。

### **②一般廃棄物の削減**

上期に行った倉庫撤去に伴う機密情報の一括廃棄により大幅に目標未達成となりました。今後は定期的に廃棄を行うと同時にペーパーレス化を推進していきます。

### **③産業廃棄物の削減**

マニフェストは適正に管理しました。分別の徹底等を行いました但目標未達成でした。更なるマニフェストの完全運用と分別の徹底に取組みます。

## **(3) 総排水量抑制**

### **上下水道の使用量削減**

整備在庫車両の増や新型コロナウイルス対策により目標未達成でした。削減意識の更なる浸透とより良い仕組みを検討し実践していきます。

## **(4) 環境対応型自動車の普及**

お客様のニーズに合わせながら意識して提案を行い、もう少しのところでしたが目標未達成でした。更なる商品知識の向上を図り丁寧な説明、提案を実施していきます。

## **(5) 車検付点検パック付保率向上**

全てのお客様への提案を実施した結果、目標を達成できました。引き続き、全担当者が車両販売商談時、入庫時の全てのお客様へ点検パックの付保を提案していきます。

## **(6) 社会貢献活動**

店舗前歩道清掃は毎日実施し、毎月**1**回は全スタッフで周辺道路まで清掃を行っています。今後も継続して実施していきます。

## 【8】環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

### I 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

主な適用法規	要求事項	遵守評価
水質汚濁防止法	・特定施設の届出 (自動式車両洗淨施設)	○ 特定施設設置届出済 (10店舗)
浄化槽法	・設置の届出 ・法定点検、保守点検の実施	○ 設置届出済 ○ 各点検実施済
下水道法	・使用の届出 ・特定施設の届出	○ 特定施設設置届出済
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理 ・廃棄物処理業者との委託 契約書の締結 ・廃棄物の表示、保管管理 ・マニフェストの交付、管理 および報告	○ 委託契約書の締結 マニフェストの返送管理および 各報告の実施
消防法	・少量危険物貯蔵所の設置届	○ 設置届済10店舗 + 車両C + 本社 ○ 日立、ひたちなか、水戸、鹿島、石岡、 土浦(サ)、つくば、うしく、下館、守谷
化管法 (PRTR法)	・特定化学物質の排出量・ 移動量の報告	○ 報告義務はないが自主管理を 継続中
自動車リサイクル法 (フロン排出抑制法も関連)	・使用済自動車の適正処理	○ 業者登録 ○ 使用済自動車の適正処理実施
茨城県生活環境の保全 に関する条例	・各適用法規に準ずる	○
土浦市・かすみがうら市 との公害防止協定	・各適用法規及び県条例に 準ずる	○

### II 違反、訴訟等の有無

2020年3月に環境関連法規の遵守状況を確認した結果違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。

同様に訴訟についても1件もありません。

## 【9】代表者による全体の評価と見直し・指示

レビュー項目	報告者の説明の概要及び経営者の指示事項							
		単位	削減目標	年度目標	年度実績	評価		
①環境経営計画の実施状況及び環境経営目標の達成状況	二酸化炭素排出量	kg-CO2	△1.0%	486,551	415,891	達成	-14.5%	
	二酸化炭素排出抑制	電気	kwh	0%	894,262	872,185	達成	-2.5%
		ガソリン	ℓ	△1.0%	168,320	152,742	達成	-9.3%
		軽油	ℓ	△1.0%	15,126	14,952	達成	-1.2%
	廃棄物排出抑制	一般廃棄物	t	△1.0%	25.3	45.0	未達成	77.9%
		産業廃棄物	t	0%	77.20	88.70	未達成	14.9%
	紙（コピー用紙）の使用量削減	一般廃棄物	t	0%	8.50	8.46	達成	-0.5%
	総排水量削減	上水道	m3	△0.5%	8,219	8,281	未達成	0.8%
	環境対応型自動車の普及	%	+2%	30.0	29.6	未達成	-1.3%	
車検付点検パック付保率の向上	%	+1%	73.4	78.5	達成	6.9%		
②苦情を含む社外の利害関係者からの受付結果	環境に関する行政及び各店舗周辺、その他関係者等からの苦情はありません。							
③環境法規制、その他の要求事項の遵守状況	現状での問題はありません。							
④当社に関する環境法規制、条例等の変化・変更の状況	大きな変化・変更はありません。							
⑤是正処置、予防処置の結果又は取組状況	環境目標に対する実績において、車両回送負担による軽油、在庫車両増による電気、ガソリン、水について目標未達成の店舗が確認できます。整備在庫台数の影響が大きく結果として表れていますが、取組の見直しや再徹底および成功事例の共有を行いました。							
⑥前回のマネジメントレビューでの指示事項への対応状況	環境関連コンプライアンスを最重要課題として活動することを継続して実施していきます。							
⑦環境経営方針の見直しの必要性	見直しは必要ありません。							
⑧その他	内部環境監査を実施した結果、不適合事項はありませんでした。							
見直しの結果	○	現在のシステムが有効に機能していることを確認した。					該当する項目に○を記入する。	
		現在のシステムが一部有効に機能していない。						
	あり	なし	環境経営方針の変更の必要性					
	あり	なし	環境経営目標の変更の必要性					
	あり	なし	推進体制の変更の必要性					
	<社長の総括的指示事項>							
	2019年度後半の新型コロナウイルスにより事業活動も時短営業などの労働環境の制限がある中、社員一人ひとりがエコアクション活動を継続していくことは、自動車業界に携わる企業として避けて通れない重要な要素である。							
	廃棄物処理など取り巻く環境も変化があり、有価物として再生されている廃オイルやバッテリー等が廃棄物として処理せざるを得ない時代が目の前である。そのような中、お客様に安心・安全を提供する使命感をもって環境との両立を図ることは大変ではあるが、新たな環境経営目標を実践するためにもP-D-C-Aサイクルを確実に行ってください。							